

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | サカタイムス株式会社 大阪工場 管理厚生棟 | 階数 | 地上4F |
| 建設地 | 兵庫県伊丹市藤ノ木3丁目80番他19筆 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 準工業地域 | 平均居住人員 | 563 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 2,000 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 事務所 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2021年7月 予定 | 評価の実施日 | 2020年4月1日 |
| 敷地面積 | 17,750 m ² | 作成者 | 酒井 |
| 建築面積 | 899 m ² | 確認日 | 2020年4月2日 |
| 延床面積 | 3,014 m ² | 確認者 | 坂井 |

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|---|--|
| 総合 自社工場の事務所棟の増築工事。周囲の景観に配慮し、道路面に対し圧迫感を与えないよう建物をセットバックさせた。環境負荷の低減に努め、外壁や開口部の断熱性を高め快適な執務空間とした。 | | その他 |
| Q1 室内環境 外壁の断熱材、サッシの断熱性に配慮した。また空気質環境については、化学汚染物質を含まない材料を採用、建物内は禁煙としている。 | Q2 サービス性能 心理性、快適性面において、リフレッシュスペースや自販機置場に配慮した。階高、天井高はゆとりある高さとし、外壁金属部には耐久性のある材料を使用した。 | Q3 室外環境(敷地内) 伊丹市都市景観条例に基づき、伊丹らしさを感じさせる色調とした。 |
| LR1 エネルギー サッシ、外壁の断熱性に配慮し、建物外皮の熱負荷を抑制した。 | LR2 資源・マテリアル 分別が可能な部材の使用、OAフロア、可動間仕切等を使用している。 | LR3 敷地外環境 地域の交通負荷抑制に配慮し、駐輪場、駐車場を適切に設置している。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される